

拝啓 すっかり春の陽気となってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、第54回グローバル化社会の教育研究会(EGS)は、海外子女教育振興財団の滝沢 州さんにお願ひしました。滝沢さんは、同財団の職員として 長い間 海外子女教育に 携わって来られました。

世界各地に日本人学校を次々に創らなくてはならなかった時代から、多種多様な教育ニーズに応えなくてはならない今日まで、40年間で状況も大きく変化しています。「予算もノウハウもなく現実を切り拓いていって、何とか目途が立つ頃になってやっと“制度”が追いついてくるというパターンの連続」を現場で支えて来られたからこそ語れる お話しを、じっくりと伺います。また、これからの海外子女教育がどこに向おうとしているのか、話し合いたいと思います。

なお、準備の都合上、お申込みは お早めにご連絡ください。(受付：4月15日まで)

敬 具

記

開催日時：2016年 4月22日(金) 午後2時～4時半

開催場所：聖学院中学校高等学校

(東京都北区中里3-12-1 Tel. 03-3917-1121)

* JR山の手線「駒込駅」東口より徒歩5分、

地下鉄南北線「駒込駅」北口より徒歩7分

<http://www.seig-boys.org/access/index.php>

研修テーマ：『海外子女教育 --- その歩みと今後 --- 支援業務からの一視点』

(1) 話題提供：滝沢 州 (海外子女教育振興財団 業務執行理事)

1950年生まれ。早稲田大学を卒業して、1976年 海外子女教育振興財団に。

1979年から 3年間、香港日本人学校に出向して、中学部校舎の建設等を担当。

以後、総務部次長、事業部長を経て、2010年から現職。

(2) 自由協議：話題提供の後、ご意見・ご質問をたくさんいただき、
活発な会にしたいと考えています。

(3) フィードバック・タイム (一人1分)

参加費：1,000円 (運営費)

申込方法：氏名、所属先、Eメール連絡先、(もしあれば)同伴者氏名、
ご意見・ご要望などを このアドレスに ご連絡ください。

以上